

フォローアップ小委員会ヒアリング結果

【実地調査の要否の取扱い】

必要：実地調査が必要

△：実地調査は不要であるが、改善事項を付して、引き続きフォローアップが必要

不要：実地調査は不要であるが、必要に応じて、改善事項を付して、引き続きフォローアップが必要

【9月27日実施】

No	ヒアリング実施大学名 (ヒアリング順)	「H23.5フォローアップ状況まとめ」で指摘された 今後改善すべき事項	ヒアリング結果	
			実地調査の要否	コメント
1	鶴見大学	<ul style="list-style-type: none"> ■臨床実習について臨床能力の担保につながる評価方法の確立に努めること。 ■優れた入学者の確保や国家試験合格率の向上のための方策を入学定員の在り方を含め、検討すること。 ■全体として、学生の学力向上の実が上がるよう教育内容、方法の改善に努めること。 	△	<ul style="list-style-type: none"> ・診療参加型臨床実習等の改善に向けた取組に着手しているが、診療参加型臨床実習の実際についてなお不明な点もあり、引き続きフォローアップが必要である。
2	北海道医療大学	<ul style="list-style-type: none"> ■診療参加型臨床実習の更なる充実と臨床能力の担保につながる評価方法の確立に努めること。 ■優れた入学者の確保や国家試験合格率の向上のための方策を入学定員の在り方を含め、検討すること。 	△	<ul style="list-style-type: none"> ・診療参加型臨床実習の改善に向けた取組に着手しているが、外来総患者数が相対的に少ないこともあり、効果については今後の推移を見る必要がある。 ・優れた入学者の確保に向けた取組に着手しているが、効果については今後の推移を見る必要がある。
3	九州大学	<ul style="list-style-type: none"> ■診療参加型臨床実習の更なる充実と臨床能力の担保につながる評価方法の確立に努めること。 ■入学定員超過の是正に努めること。 	△	<ul style="list-style-type: none"> ・改善の取組は計画されているが、本年10月から開始のため、効果については今後の推移を見る必要がある。 ・H24年度入試において、入学定員超過は是正されている。
4	明海大学	<ul style="list-style-type: none"> ■優れた入学者の確保や国家試験合格率の向上のための方策を入学定員の在り方を含め、検討すること。 	必要	<ul style="list-style-type: none"> ・改善方策は、国家試験の合格率を上げるための取組が中心になっており、歯学教育の全体的な改善に資する内容となっていない。
5	日本大学	<ul style="list-style-type: none"> ■診療参加型臨床実習の充実に努めること。 	必要	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業時の臨床技能の担保も含め、診療参加型臨床実習の充実にに向けた取組が遅れている。
6	福岡歯科大学	<ul style="list-style-type: none"> ■診療参加型臨床実習の更なる充実と臨床能力の担保につながる評価方法の確立に努めること。 	不要	<ul style="list-style-type: none"> ・診療参加型臨床実習の改善に向けて、組織的に様々な取組に着手しており、効果が現れつつある。
7	日本歯科大学 (新潟)	<ul style="list-style-type: none"> ■診療参加型臨床実習の更なる充実と臨床能力の担保につながる評価方法の確立に努めること。 ■優れた入学者の確保や国家試験合格率の向上のための方策を入学定員の在り方を含め、検討すること。 	不要	<ul style="list-style-type: none"> ・屋根瓦方式の指導方法を導入しながら診療参加型臨床実習の改善に向けて工夫している。 ・最低修業年限での国試合格率の向上は、今後の教育改善の効果の推移を見る必要がある。
8	松本歯科大学	<ul style="list-style-type: none"> ■診療参加型臨床実習の充実に努めること。 ■優れた入学者の確保や国家試験合格率の向上のための方策を入学定員の在り方を含め、検討すること。 	必要	<ul style="list-style-type: none"> ・改善事項に対する改善に向けた取組が遅れている。

【9月28日実施】

No	ヒアリング実施大学名 (ヒアリング順)	「H23.5フォローアップ状況まとめ」で指摘された 今後改善すべき事項	ヒアリング結果	
			実地調査の要否	コメント
9	朝日大学	<ul style="list-style-type: none"> ■ 診療参加型臨床実習の更なる充実と臨床能力の担保につながる評価方法の確立に努めること。 ■ 優れた入学者の確保や国家試験合格率の向上のための方策を入学定員の在り方を含め、検討すること。 ■ 全体として、学生の学力向上の実が上がるよう教育内容、方法の改善に努めること。 	必要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 診療参加型臨床実習の定義も含めて、診療参加型臨床実習の改善に向けた取組が遅れている。
10	鹿児島大学	<ul style="list-style-type: none"> ■ 診療参加型臨床実習の更なる充実と臨床能力の担保につながる評価方法の確立に努めること。 ■ 入学定員超過の是正に努めること。 	必要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 診療参加型臨床実習の改善に向けた取組が遅れている。 ・ H23・H24年度入試において、入学定員超過は是正されている。
11	大阪歯科大学	<ul style="list-style-type: none"> ■ 診療参加型臨床実習の更なる充実と臨床能力の担保につながる評価方法の確立に努めること。 ■ 国家試験合格率の向上のための方策を入学定員の在り方を含め、検討すること。 	必要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 診療参加型臨床実習の改善に向けた取組が遅れている。
12	神奈川歯科大学	<ul style="list-style-type: none"> ■ 診療参加型臨床実習の更なる充実と臨床能力の担保につながる評価方法の確立に努めること。 ■ 優れた入学者の確保や国家試験合格率の向上のための方策を入学定員の在り方を含め、検討すること。 	△	<ul style="list-style-type: none"> ・ 診療参加型臨床実習等の改善に向けた取組に着手しているが、教育内容や入学状況、国家試験合格状況等についてなお不明な点もあり、引き続きフォローアップが必要である。
13	日本大学 (松戸)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 診療参加型臨床実習の更なる充実と臨床能力の担保につながる評価方法の確立に努めること。 ■ 優れた入学者の確保のための方策を入学定員の在り方を含め、検討すること。 	不要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 診療参加型臨床実習の改善に向けた取組が進んでいる。 ・ 優れた入学者の確保に向けた取組に着手しているが、効果については今後の推移を見る必要がある。

実地調査実施大学 計6大学